

令和4年度 学習の手引き

川場村立川場中学校

◎学力をつけるためのポイント

①学力の基盤は生活習慣

学力は毎日こつこつと努力を積み重ねることではか身に付きません。そこでは**生活習慣を整える**ことが重要です。

1. 早く起き、三度の食事をきちんと摂る。(特に朝食。朝食を摂らないと脳が活発に動かない)
2. 忘れ物をしない。(持ち物は前日にそろえる)
3. 夜遅くに勉強しない。(早い時間にする。0時には熟睡している)

②学校での学習

授業での1時間は、家庭学習の2～3時間分にあたります。まずは**授業が勝負**です。

1. 先生の話や友達の意見をしっかり聴く。(耳と目と心で)
2. 自分で考え、重要な内容は授業中に理解する。
3. 進んで発表する。(発表したことはよく覚えらる)
4. ノートは授業中にまとめる。気になったことはメモする。



③家庭での学習

たとえ宿題がなくても、毎日の家庭学習(予習や復習)が必要です。特に**復習が大切**です。

また、**集中して取り組む**ことが必要です。**生活ノートで計画的に**家庭学習をしていきましょう。

1. 宿題や自主学習は必ずする。
2. 決まった時間に、決まった場所で学習する。
(遅くまで勉強しても思ったほど効果は上がらない。逆に生活のリズムを乱し、朝起きられなくなる。)
3. テレビを見ながら・・・音楽を聞きながら・・・といったような「ながら」勉強はダメ!
4. 自分にあった学習の仕方を見つけ実践していく。
【例】・声を出して読んだり、紙に何度も書いたりして覚える。
 - ・要点をノートにまとめたり、図や表や式を書いたりして重要なことをまとめる。
 - ・問題集を解き、間違えたものは2度、3度とやり直し、完全にできるようにする。

◎各教科のポイント

国語

《授業への取り組み方》

- ①ノートのとり方を工夫する。(板書を丁寧に写すことはもちろん、色分け等見やすく工夫する。)
- ②自分の考えを深めるためにまずは自分の考えを書き、その後、友達の意見を取り入れる。
- ③自分の考えを積極的に発表する。
- ④友達の考えを、自分との共通点や相違点を考えながら集中して聴く。

《家庭学習への取り組み方》

- ①ノートや授業で使ったワークシートをよく見直す。
- ②授業の板書を写したノートを再度別のノートに写して復習する。
- ③ノートを写す際には重要な部分は色分けをしてわかりやすくする。
- ④漢字練習ノート4ページ分、週一回提出に向けてコツコツ進める。
- ⑤授業でやった教材は、宿題でなくとも国語ワークを進める。



社会

《授業への取り組み方》

- ・先生の話を中心して聴くこと。(目と耳で聴く)
- ・社会の用語は、ノートの「4cmライン」に書いたり、用語集で意味を確認したりしておくこと。
- ・資料(グラフ、写真、地図等)の読み取りを日頃から行うこと。
- ・授業の内容の要点を簡潔にまとめ、ノートにきちんと書くこと。
- ・グループで話し合ったり調べたりする時は、積極的に取り組むこと。(自ら資料を選択・活用する)

《家庭学習への取り組み方》

- ・その日に学んだ内容を、もう一度ノートに書く。(振り返り学習)
- ・重要語句や説明・理由を答える問題と解答をノートに記述しておく。(記述問題への対策)
- ・教科書をもう一度読み直す。(学習内容の振り返り)



数学

《授業への取り組み方》

- ・分からないことはそのままにしないで、先生にきいてその日のうちに理解しよう!
- ・先生の説明は集中して聴くこと! 説明を聴く時とノートに書く時の区別をつける。
- ・グループで学び合う時は、積極的に声を出そう! 友だちと意見を出し合う時に、自然と基本的な内容を確認できます。

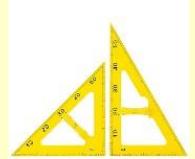
《家庭学習への取り組み方》

○数学は復習の方が大切!

その日の学習内容はその日のうちに復習する。(繰り返して学習すると身につく!)

【復習の仕方の例】

- ①授業当日…学習した内容のワークや教科書の間を解く。
- ②週末…教科書の問いやワークの間違った問題を解く。
- ③テスト前…もう一度その範囲の問題を解き直す。



理科

《授業への取り組み方》

- ・先生の説明は集中して聴くこと!
- ・ノートには黒板に書かれたことはもちろん、自分が必要だと思ったことはメモしておくようにする。
- ・グループで学び合う時は、積極的に意見を出そう! 友だちと意見を出し合う時に自然と基本的な内容を確認できます。
- ・観察・実験道具は、つねに正しい使い方を確認してから使用すること。

《家庭学習への取り組み方》

- ①プリントやノートを見直し、重要語句(教科書の太字等)とその意味を覚える。
- ②「現象や図をイメージしながら」何度もノートに書いて覚えるべきことを覚える。覚えた知識が現象を理解するために必要になる。
- ③実験や観察については、操作の方法、器具の使い方、注意点をよくまとめておく。また、これは何のために行った実験なのか、この実験で何が分かるのかという「実験の目的や意味」を理解することがとても重要。
- ④問題集やプリントに自主的にきちんと取り組む。



英語

《授業への取り組み方》

- ・リスニングの力は授業での先生の英語をよく聴いて耳を鍛えましょう。また、リスニングの問題に真剣に取り組む、いろいろな英語に慣れましょう。
- ・音読は「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能全てにつながります。
- ・グループやペアでの活動は完璧である必要はありません。話せば話すほど、書けば書くほど力が伸びます。

《家庭学習への取り組み方》

予習①ノートに新出語句の意味調べをする。

予習②教科書の基本文や本文に目を通し、どんな内容かを推測しておく。

復習①授業で学習した単語や教科書の本文をノートに書き写す。声を出して、意味を考えて書くと効果的です。

復習②授業で学習した単語や本文を声に出して読む。本文は暗唱できるくらい繰り返し読みましょう。

